三菱重工

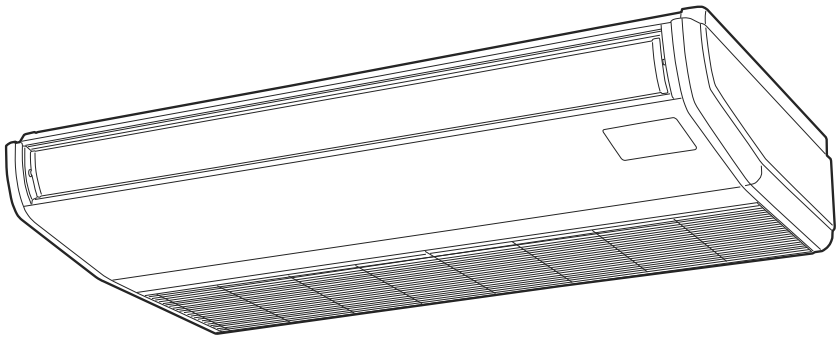
セゾンエアコン
ビル空調システム
ガスヒートポンプエアコン

取扱説明書

■ 天吊形（FDE, GE）

もくじ

■安全上のご注意…… 1
■フロン排出抑制法に基づく管理のお願い… 2
■快適にお使いいただくために…… 3
■お手入れのしかた…… 3
　エアフィルターの掃除…… 3
■故障かな？…… 4
■パッケージエアコンの主な部品の保守・点検ガイドライン… 5
■暖房準備について…… 9
■停電補償について…… 9
■据え付け・移設・点検整備について…… 9
■運転範囲…… 9
■長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について… 10
■保証とアフターサービスについて…… 10



このたびは三菱重工パッケージエアコンをお買い上げいただき，まことにありがとうございました。

ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みいただき，正しくご使用ください。お読みになったあとは保証書とともに大切に保管してください。

PFA012A603
201702

安全上のご注意

■ご使用の前に，この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください。
■ここに示した注意事項は，「⚠ 警告」，「⚠ 注意」に区分していますが，誤った取り扱いをしたときに，死亡や重傷等の重大な結果に結び付く可能性が大きいものを特に「⚠ 警告」の欄にまとめて記載しています。しかし，「⚠ 注意」の欄に記載した事項でも，状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので，必ず守ってください。
■絵表示の例

△記号は，危険・警告・注意を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な禁止内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。

○記号は，禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容が描かれています。

●記号は，行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合はアースを行なってください）が描かれています。

■お読みになった後は，お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。また，お使いになる方が代わる場合は，必ず本書をお渡しください。

据え付け上の注意事項

⚠ 警告

据え付けは，販売店または専門業者に依頼する。
ご自分で据え付け工事をされ不備があると，水漏れや感電，火災，エアコン落下によるケガの原因になります。

小部屋へ据え付ける場合は万一冷媒が漏れても限界濃度を超えない対策が必要です。限界濃度を超えない対策については，販売店と相談して据え付けする。
万一，冷媒が漏洩して限界濃度を超えると酸欠事故の原因になります。

空気清浄機，加湿器などの別売品は，必ず，当社指定の製品を使用する。また，取り付けは専門業者に依頼する。
ご自分で取り付けをされ，不備があると，水漏れや感電，火災などの原因になります。

冷凍サイクル内に指定冷媒以外を入れない。
漏れによる爆発や火災，冷媒サイクル内の異常高圧による破裂の原因になります。

⚠ 注意

アース（接地）を確実に行う。
アース線は，ガス管，水道管，避雷針，電話のアース線に接続しないでください。アース（接地）が不確実な場合は，故障や漏電のときに感電や火災の原因になることがあります。

設置場所によっては漏電ブレーカーを取り付ける。
漏電ブレーカーが取り付けられていないと火災や感電の原因になることがあります。お買い上げの販売店または専門業者に依頼してください。

可燃性ガスの漏れるおそれのある場所への設置は行わない。
万一ガスが漏れてエアコンの周囲に溜まると，発火の原因になることがあります。

ドレン工事は，確実に排水するように配管する。
不確実な場合は，屋内に浸水し，家財などを濡らす原因になることがあります。

室外機が耐塩害仕様機種については機器の状態を定期的に点検する。必要に応じて再防錆処置や部品交換などを行う。
発錆での部品欠損によりユニット転倒などの事故の原因になることがあります。

使用上の注意事項

⚠ 警告

長時間冷風を身体に直接あてたり，冷やし過ぎない。
体調悪化・健康障害の原因になります。

空気の吹出口や吸込口に指や棒などを入れない。
内部でファンが高速回転しており，ケガの原因になります。

洪水，台風など天災でエアコンが水没した時は，お買い上げの販売店に相談する。
運転をすると，故障や感電，火災などの原因になります。

異常時（こげ臭いなど）は，運転を停止して電源スイッチを切り，お買い上げの販売店に相談する。
異常のまま運転を続けると，故障や感電，火災などの原因になります。

エアコンが冷えない，暖まらない場合は冷媒の漏れが原因のひとつとして考えられるので，お買い上げの販売店に相談する。
冷媒の追加を伴う修理の場合は，修理内容をサービスマンに確認する。
エアコンに使用されている冷媒は安全です。冷媒は通常漏れることはありませんが，万一，冷媒が室内に漏れ，ファンヒーター，ストーブ，コンロなどの火気に触れると有害な生成物が発生する原因になります。

送風機が停止していても急に運転することがありますので，指や棒などを入れない。
ケガの原因になります。

⚠ 注意

食品・動植物・精密機器・美術品の保存など特殊用途に使用しない。
保存物の品質低下などの原因になることがあります。

濡れた手でスイッチを操作しない。
感電の原因になることがあります。

燃焼器具と一緒に運転するときは，こまめに換気する。
換気が不十分な場合は，酸欠事故の原因になることがあります。

エアコンの風が直接あたる所に燃焼器具を置かない。
燃焼器具の不完全燃焼の原因になることがあります。

長期使用で傷んだままの据付台などを使用しない。
傷んだ状態で放置するとエアコンの落下につながりケガの原因になることがあります。

エアコンを水洗いしたり，花瓶などの水の入った容器を載せたりしない。
感電や発火の原因になることがあります。

動植物に直接風があたる場所には設置しない。
動植物に悪影響をおよぼす原因になることがあります。

掃除をする時は必ず運転を停止して，電源スイッチを切る。
内部でファンが高速回転しておりますのでケガの原因になることがあります。

正しい容量のヒューズ以外は使用しない。
針金や銅線を使用すると故障や火災の原因になることがあります。

可燃性スプレーなどをエアコンの近くに置いたりエアコンに直接吹きかけない。
発火の原因になることがあります。

お手入れをする時は必ず運転を停止し，電源スイッチを切る。
内部でファンが高速回転していますのでケガの原因になることがあります。

長期間使用しない場合は，電源スイッチを切る。
ホコリが溜まると発熱・発火の原因になることがあります。
但し，エアコンを保護するため，運転開始の 6 時間前に電源スイッチを入（ON）にしてください。

エアコンの下にほかの電気製品や家財などを置かない。
水滴が滴下する場合があり，汚損や故障の原因になることがあります。

エアコンのアルミフィンにさわらない。
ケガの原因になることがあります。

室内機内部の洗浄はお客様自身で行わず，必ずお買い上げの販売店またはメーカー指定のお客様相談窓口に相談する。
誤った洗浄剤の選定・使用方法で洗浄を行うと，樹脂部分が破損したり水漏れなどの原因になることがあります。また，洗浄剤が電気品やモータにかかると故障や発煙・発火の原因になることがあります。

室外機の上に乗ったり，物を載せたりしない。
落下・転倒などによりケガの原因になることがあります。

エアコンの操作やお手入れの時は不安定な台に乗らない。
転倒などケガの原因になることがあります。

雷が鳴り落雷のおそれがあるときは運転を停止し，スイッチを切る。
被雷すると，故障の原因になることがあります。

エアコンを数シーズン使用した場合は，通常のお手入れとは別に点検整備を行う。
室内機の内部にゴミやホコリがたまって，においが発生したり，除湿水の排水経路を詰まらせ室内機からの水漏れの原因になることがあります。点検整備には専門の知識と技術が必要です。お買い上げの販売店に依頼してください。

室外機の周辺に，物を置いたり，落ち葉がたまらないようにする。
落ち葉などがあると，虫などが侵入して，内部の電気部品に触れると，故障や発火・発煙の原因になることがあります。

吸込グリル・吹出グリルを外して使用しない。
ケガの原因になることがあります。

電源スイッチによるエアコンの運転や停止をしない。
火災や水漏れの原因になることがあります。また，停電補償が有効に設定されている場合，ファンが突然回り，ケガの原因になることがあります。

スイングルーバーが動いているときなどは吹出口に手を触れない。
ケガの原因になることがあります。

リモコン線を引っ張らない。
心線の一部が断線して漏電の原因になることがあります。

室内機及びリモコンの近くで湯沸器等の器具を使用しない。
蒸気を発生する器具を近くで使用しますと，冷房運転時水滴が落ちたり，漏電・短絡の原因になることがあります。

粉・繊維の浮遊する場所で使用しない。
エアフィルターで捕集できない小さな粉がエアコン内部に留まり，漏電・短絡の原因になることがあります。

エアコンの下部には，濡れて困るものは置かない。
湿度 80%以上の時や，ドレン排水が詰まった場合に，室内機から露が滴下し損害が生じる恐れがあります。

エアコンの使用期間（特に暖房期間）において，長期使用しない場合を除き，エアコンの停止時に電源スイッチを切らないでください。
圧縮機保護のヒーター通電が停止し，圧縮機故障の原因となります。

▌移設・修理・廃棄時の注意事項

⚠ 警告

改修は絶対にしない。また，修理はお買い上げの販売店に相談する。
修理に不備があると水漏れや感電，火災などの原因になります。
エアコンに使用されている冷媒は安全です。冷媒は通常漏れることはありませんが，万一，冷媒が室内に漏れ，ファンヒーター，ストーブ，コンロ等の火気に触れると，有毒ガスが発生する原因になります。
冷媒漏れの修理の場合は，漏れ箇所の修理が確実に行われたことをサービスマンに確認してください。

エアコンを移動再設置・廃棄する場合は，販売店または専門業者に相談する。
据え付けに不備があると水漏れや感電，火災などの原因になります。

室内機の修理・点検作業に際して，電源スイッチを必ず切る。
点検・修理にあたって，電源スイッチが入(ON)のままだと，感電および室内機ファン回転による受傷の原因になります。

▌フロン排出抑制法に基づく管理のお願い（圧縮機の電動機定格出力が 7.5kW 未満のユニットの場合）

▌本製品を管理（所有）されているお客様へ

本製品は「フロン排出抑制法」に定める「第一種特定製品」です。
本製品を使用するにあたり，フロン類の漏えいを防止するため，フロン排出抑制法に基づき本製品の管理者（所有者，または使用等を管理する者）は，次のことを守る必要があります。

①機器を設置する時
　適切な設置，適正な使用環境を確保すること。
②機器を使用している時
　適切な設置，適正な使用環境を維持し，確保すること。
　機器の簡易（日常）点検を実施すること。
　◇簡易点検：定期的な温度および目視による外観の点検です。（3ヶ月に 1 回以上）
　異音・異常振動，外観の損傷，腐食，錆び，油のにじみ，霜つき等の漏えいの徴候を確認します。
　◇定期点検・機器の専門点検の方法について十分な知見を有する有資格者が行う点検です。（3 年に 1 回以上）
　定期点検の委託先および圧縮機出力についてはお買い上げの販売店または弊社窓口へお問合せください。
③フロンの漏えいを発見した時
　速やかに漏えい箇所を特定し，修理すること。
　機器の修理をせずに充填することは原則禁止。
④点検や修理をした後
　点検・整備記録簿に点検・修理・充填・回収に関する履歴を記録し，その記録簿を保存すること。

もし，機器の異常を発見した場合，専門的な点検･整備が必要なため，お買い上げの販売店または弊社窓口にご相談ください。
点検・整備記録簿には，機器を設置したときから廃棄するまでの機器の点検や修理，冷媒の充填・回収等のすべての履歴を記録・保存する必要があります。
冷媒の充填・回収には都道府県に登録された「第一種フロン類充填回収業者」への依頼が必要なため，お買い上げの販売店または弊社窓口へお問合せください。

▌本製品を設置する工事業者様へ

本製品の据付後，「(冷媒漏えい）点検・整備記録簿」を作成していただき，フロン排出抑制法に基づいて「(冷媒漏えい）点検･整備記録簿」を保管いただくようお客様にご説明ください。

詳細はお買い上げの販売店または弊社窓口へお問合せ，または下記サイトをご覧ください。
フロン排出抑制法の手引き：http://www.jraia.or.jp/index.html
冷媒漏えい　点検・整備記録簿（含む　簡易点検チェックシート）のエクセルシート：http://www.jarac.or.jp/

ご使用方法
リモコン取扱い方法は，各リモコンに付属している取扱説明書を参照してください。

快適にお使いいただくために

エアフィルターの掃除はこまめに
エアフィルター掃除表示（サイン）が表示したとき，冷房および暖房シーズンが終わったときには掃除をしてください。

エアフィルターが目詰まりすると…
- 冷・暖房効果が落ちます。また，電気のむだづかい，運転音も大きくなります。
- 故障の原因になります。
- 冷房時には水滴が落ちることがあります。

室内・室外機の吸込口や吹出口をふさがないで
エアコンに無理がかかって故障の原因になることがあります。

室内の温度は適温に
冷やしすぎ，暖めすぎは健康に良くありません。また，電気のむだづかいになります。

直射日光やすき間風を入れない
冷房のときは直射日光をブラインドやカーテンで遮りましょう。窓や出入口は換気のとき以外は閉めましょう。

風向調節をじょうずに
風を長時間直接肌にあてないでください。小動物や植物にも風が直接あたらないようにしてください。

暖房時に足もとが寒いときは
天井が高く足もとまで温風が循環しにくい場合はサーキュレーターのご使用をお勧めします。詳しくは販売店にご相談ください。

雷が鳴り，落雷のおそれがあるときは運転を止めて電源をOFFに
エアコンの故障の原因になることがあります。

お手入れのしかた

エアフィルタの掃除

経済的な冷暖房を行うためにエアフィルタの掃除は定期的に行ってください。圧縮機の故障原因になることがあります。

⚠ 注意　**掃除をする時は必ず運転を停止して，電源スイッチを切ってください。**
内部でファンが高速回転しており，ケガの原因になることがあります。

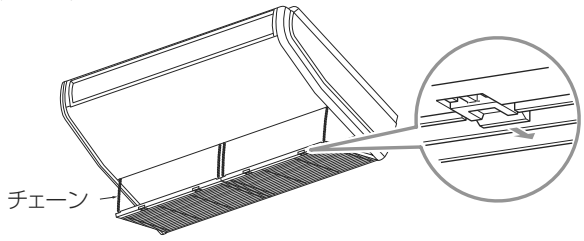
⚠ 注意　**エアフィルタの取付・取外しに脚立等を使用する場合は，しっかり固定してください。**
落下・転倒などにより，ケガの原因になることがあります。

⚠ 注意　**エアフィルタを取外すときには目にホコリが入らないように注意してください。**

⚠ 注意　**エアフィルタを取外した状態で運転しないでください。**
内部にゴミが詰まり，故障の原因になります。

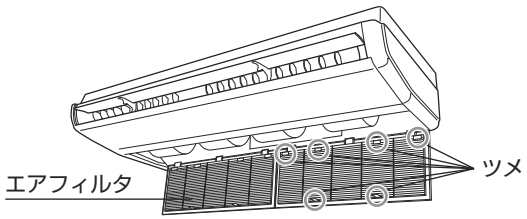
■天吊形

1. 吸込グリルのレバーを後方（➡の方向）にスライドさせ下に開いてください。



収納時はレバーを前方へ「カチッ」と音がするまで押して止めてください。

2. 吸込グリルを押えながらフィルタを押してツメから外し，下に引抜いてください。



装着時は，フィルタを吸込グリルのツメにはめ込んでください。

掃除のしかた
1 水で洗い流して掃除をします。汚れが少ないときは，軽くはたくか，クリーナでも掃除ができます。
汚れがひどいときは，ぬるま湯（30℃位）に中性洗剤を溶かし，ゆすぎ洗いしたあと，水で洗剤をよく洗い落としてください。
2 エアフィルターを乾かしてからグリルに取付けてください。
3 リモコンからフィルターサインリセットをしてください。
（フィルターサインリセットの方法は，リモコン付属の取扱説明書を参照ください。）
ラクリーナパネルの場合、グリル昇降の操作で自動でフィルターサインはリセットされます。

お 願 い
- 直射日光にあてたり，火であぶって乾かさないでください。エアフィルターが損傷します。
- エアフィルターを外したままで運転しないでください。エアコンの故障の原因になります。
- 熱湯で洗わないでください。エアフィルターが損傷します。
- 強く引っ張らないでください。エアフィルターが損傷します。

本体のお手入れ
- 柔らかい布でからぶきして掃除してください。汚れのひどいときは，ぬるま湯に溶かした中性洗剤でふき取ったあと，清水で洗剤をふき取ってください。

シーズンの終わり
- 長期間に渡り使用しない場合は，電源スイッチを切ってください。エアコンは停止中でも数十ワットの電力を消費しています。
- エアフィルタの掃除をして取り付けておいてください。
- 室内および室外機の掃除をして汚れを落としてください。

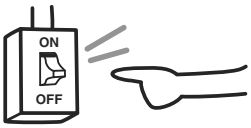
シーズンの初め
- 室内・室外機の吸込口や吹出口のまわりに風の障害になる物がないか確認してください。
- エアフィルタの点検をしてください。汚れていたら掃除をして取り付けてください。
- **運転開始の6時間前に電源スイッチを入れてください。**

故障かな？

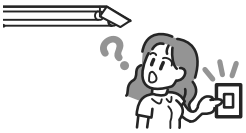
サービスをお申しつけになる前に次のことをお調べください。

まったく運転しない

電源スイッチが OFF になっていませんか。



停電またはヒューズ切れではありませんか。



ラクリーナパネルの吸込グリルが下がっていませんか。
グリル自動昇降モードになっていませんか。吸込グリルを収納させてから運転してください。

漏電しゃ断器が作動していませんか。

危険です。すぐ電源を切ってお買い上げの販売店にご連絡ください。

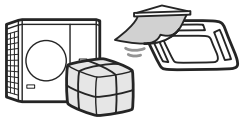
受信部に日光や強い照明光があたっていませんか。（ワイヤレス機）

冷えや暖まりが悪い

エアフィルターが目詰まりしていませんか。

スイングルーバが水平ではありませんか。（暖房時）
スイングルーバが水平ですと風が床面まで届きません。

風の吸込口や吹出口に障害物はありませんか。



冷えが悪い

- お部屋に直射日光があたっていませんか。
- お部屋の中に思わぬ熱源がありませんか。
- 室内の人数が多すぎませんか。

暖房時に風が出ない

暖房準備中ではありませんか。

以上のことをお調べいただいても正常に運転しないとき，また次のようなときにはエアコンの運転を止めてお買い上げの販売店にご連絡ください。
• ヒューズやブレーカーがたびたび切れるとき。• 冷房・除湿運転中，水が漏れるとき。• 運転動作や運転音に異常があるとき。• 点検表示灯が点滅したとき。

これは故障ではありません。

水が流れるような音がする。	運転開始時，運転途中での圧縮機の発停時および運転停止時「シュルシュル」「ゴボゴボ」という音が出ることがありますが，これは冷媒の流れる音です。
停止中の室内機から「シュー」「ゴボゴボ」という音が出る。	エアコンが自動的に制御を行っている音です。
吹き出す風がにおう。	室内機から吹き出す風がにおうことがありますが，これはエアコンの内部に付いたタバコ，化粧品，家具などのにおいです。
運転中に室内機から白い霧が出る。	飲食店等で油類を多く使う場所でご使用になると，運転中に吹出口から白い霧が吹き出すことがあります。このようなときには販売店にご相談のうえ，熱交換器を洗浄してください。
冷房運転中に送風運転に切り換わった。	室内熱交換器の着霜防止のため，自動的に送風運転に切り換わることがありますが，まもなく冷房運転に戻ります。
暖房運転中に運転を停止しても室内送風機が止まらない。	補助ヒーターの余熱を取るため，停止後約 40 秒間室内送風機が回り続けることがあります。 お願い　電源を切るときは，送風機が停止してから切ってください。
停止直後に再運転ができない	運転を停止してから 3 分間は運転／停止スイッチを押して「運転」にしても冷房・除湿・暖房運転はできません。これは圧縮機を保護する回路が働いているためです。（この間は送風運転となります）
除湿運転中風が出ない。また風量切換ができない。	除湿運転中は冷やしすぎと，湿度の上昇を防ぐため，送風機は自動的に風量弱，停止を繰り返します。
スイングルーバが勝手に動く。	電源スイッチを入れた時，2 回オートスイングしますが，異常ではありません。また「暖房準備」が表示されているときは，自動的にスイングルーバが水平になります。
暖房運転中に室外機から水や湯気が出る。	これは室外機に付いた霜を取る（除霜運転）ときに出るものです。
運転時に室外機の送風機が回っていない。	除霜運転や外気温が高いときの暖房運転では送風機を止める機能が働きます。また，冷房運転でも外気温が低くなると運転する送風機の数を自動的に制御する機能が働きます。 お願い　停止していても急に送風機が運転することがありますので，指や棒等を入れないでください。
冷房運転時に冷風が数分間出ない。（冷暖フリーマルチの場合）	冷暖フリーマルチにおいて，数時間毎に自動的に圧縮機保護制御を行います。このとき室内機は送風を停止する場合がありますが，まもなく冷房運転に戻ります。

「ピシ，ピシ」という音がする。	温風により樹脂部品等が伸縮する際に発生する音です。
運転停止又は除霜運転時に「シュ」という音がする。	エアコン内部にある冷媒切換弁が作動する時に発生する音です。
ラクリーナパネルの吸込グリル下降・上昇動作中にカクン・カクン音がする。	ワイヤーが糸巻に巻かれる音です。
ラクリーナパネルの吸込グリル収納時にゴト・ゴト音がする。	ワイヤーのたるみを取り除く動作中に出る音です。約 20 秒で終わります。
電源スイッチを入れただけで運転が開始した。	停電補償が有効に設定されている場合は，停電または，電源スイッチを切る前の状態で，復電後運転を開始します。
設定温度が変わらない。（設定温度表示が点滅する）	温度設定が固定されていると，▽△スイッチを押しても設定温度は変わりません。
リモコン操作をしても本体表示部の点検表示灯が点滅するだけで運転しない。（ワイヤレス機）	別売のセンターコンソール等で制御している場合は，リモコンによる運転操作はできません。
リモコン操作をしても，リモコンの「集中管理中」が点滅するだけで運転しない。（ワイヤード機）	「集中管理中」又は「センター」が表示されていませんか。別売りのセンターコンソール等で制御している場合は，リモコンによる運転操作ができない場合があります。
暖房運転中に数分間送風が停止する	室外機の熱交換器に付いた霜を除去する除霜制御，あるいは自動的に圧縮機保護制御を数時間毎に行います。このとき室内機の送風が停止しますが，まもなく暖房運転に戻ります。（除霜制御中はリモコンに「暖房除霜」と表示します。

パッケージエアコンの主な部品の保守・点検ガイドライン

この表は，一般的な使用条件下における定期点検の内容とその周期（点検周期）及び部品交換などの目安を示しています。建築物における衛生的環境の確保に関する法律（ビル管法）施行規則等の法令・規定で定められている対象設備に該当する場合は，法規に従った保守点検も実施してください。予防保全については，定期点検の実施周期を＜点検周期＞として表し，定期点検の点検結果に基づき必要となるであろう「清掃・調整の実施」又は「部品交換・修理実施」の予測周期を＜保全周期＞として表しています。清掃・調整については，部品の劣化及び性能低下を防止する為に，また，点検後の部品交換・修理

【主として室内側の部品と組込部品】 ※室内側･室外側の区分は店舗用エアコン，ビル用マルチエアコンを想定しています。設備エアコンなどユニット

部品名			定期点検		
部品名			点検内容	点検方法	判定基準<目安>
構造部品	化粧パネル（意匠部）		・汚れ，傷のチェック	目視点検	・著しい汚れ，傷，変形がないこと
	吸込・吹出グリル		・目視による汚れ，傷のチェック ・吹き出しグリルルーバ動作確認	目視点検	・著しい傷，変形がないこと
	フレーム・底板類		・錆，断熱材の剥がれチェック ・塗装被膜の剥がれ，浮きのチェック	目視点検	・著しい錆，断熱材の損傷がないこと
	防振ゴム		・ゴムの劣化，硬化のチェック	目視・聴感点検	・防振機能に弊害がないこと
送風系統部品	フィルタ		・目視による汚れ，破れチェック	目視点検	・ろ材が透けて見えること ・破れ，変形がないこと
	ファン ファンケーシング		・振れ，バランスの目視チェック ・ゴミの付着，外観チェック	目視点検 目視点検	・著しい振れ状態でないこと ・著しい錆，変形の発生がないこと
	ファンモータ		・音の聴感チェック ・絶縁抵抗の測定	聴感点検 500V メガ	・異常音の発生がないこと ・1MΩ以上のこと
	ファンベルト		・摩耗，傷，緩みなどを定期点検	目視・聴覚点検 ベルトの張り点検	・著しい摩耗，異常音がないこと ・ベルトたわみ量などメーカーの判定基準による
	ベアリング		・定期的に給油が必要	聴覚点検	・異常な音の発生がないこと
	ルーバモーター ドラフト低減機構モーター		・絶縁抵抗，異常音発生	500V メガ・聴感点検	・1MΩ以上のこと，異常音がないこと
ドレン系統部品	ドレンパン		・ゴミ詰り，ドレン水の流れチェック ・塗装被膜の剥がれ，浮きのチェック	目視点検	・排水詰りがないこと ・異常な錆の発生，穴開きがないこと
	ドレンポンプ		・排水状態のチェック ・給排水口の詰まり汚れチェック ・絶縁抵抗	目視点検 目視点検 500V メガ	・正常に排水されていること ・詰まり汚れがないこと ・1MΩ以上のこと
	結露防止ヒーター		・絶縁抵抗，外観チェック	500V メガ・目視点検	・1MΩ以上のこと，異常がないこと
	フロートスイッチ		・動作確認	テスター	・ON−OFF 動作正常のこと
冷媒系統部品	空気熱交換器		・ゴミによる目詰まり，損傷チェック ・ガスもれ	目視点検 ガス検知器	・目詰まり，損傷がないこと ・漏れ検知がないこと
	機内配管		・機内配管の共振，接触，腐食 ・キャピラリーチューブの共振，接触	目視点検 目視点検	・異常な共振，音，腐食がないこと ・異常な共振，接触摩耗がないこと
	電子式膨張弁		・動作チェック ・電源入切にて，動作音（圧力確認）	触感点検 聴感･触感点検	・冷媒循環を感じること ・駆動音と温度変化があること
	電磁弁，四方弁等		・電磁弁，四方弁等の動作，絶縁性能 ・腐食，異常音	500V メガ 目視・聴感点検	・1MΩ以上のこと ・異常な音，腐食がないこと
電気･電子部品	電装BOX （インバーター含む）		・回路の絶縁抵抗チェック ・端子部，コネクター緩みチェック	500V メガ ドライバー・目視点検	・1MΩ以上のこと ・接続部分に緩みがないこと ・堆積異物がないこと ・異常表示しないこと
	スイッチング電源トランス		・出力電圧測定	テスター	・出力電圧が規定値以内であること
	温度センサー ヒューミディスタット		・オープン，ショート，地絡，外観チェック	テスター，目視点検	・規定の抵抗値であること 亀裂，変色なきこと
	リモコンスイッチ		・操作による，制御性チェック	目視点検	・操作通り液晶表示すること
付加機能部品	補助暖房用電気ヒーター		・発熱部，安全装置の損傷などの外観 ・絶縁抵抗チェック ・ほこりの付着	目視点検 500V メガ 目視点検	・損傷，変形の発生がないこと ・1MΩ以上 ・ほこり付着がないこと
	高性能フィルター		・ゴミによる目詰まりチェック ・外観	目視点検	・短期に著しい詰まりがないこと ・変形，損傷がないこと
	電気集塵器		・絶縁抵抗チェック ・電離部，集塵部，絶縁部の汚れチェック ・異常音チェック	500V メガ 目視点検 聴感点検	・1MΩ以上 ・ゴミの推積，破損，変形がないこと ・異常音がないこと
	自然蒸発式加湿器	加湿エレメント	・親水化，水供給，スケールのチェック ・水槽類のゴミ，汚れ ・エレメントの汚れ	目視点検	・各社の判定基準のよる
		加湿器弁類	・絶縁抵抗チェック ・異常音チェック	500V メガ 聴感点検	・1MΩ以上 ・異常音がないこと
		加湿器用ストレーナー	・ストレーナー詰りのチェック	目視点検	ゴミ詰りがないこと
	蒸気加湿器		・加湿状態，蒸気供給状態のチェック ・ノズルのチェック ・蒸発槽の汚れ（スケール等） ・蒸気圧力のチェック ・絶縁抵抗チェック	目視点検 500V メガ	・蒸気発生は規定通りのこと ・1MΩ以上
	超音波加湿器		・水槽のゴミ，汚れチェック ・振動子の汚れチェック ・加湿状態，水供給のチェック ・絶縁抵抗チェック ・ストレーナー詰りのチェック	目視点検 500V メガ	・蒸気発生量は規定通りのこと ・1MΩ以上

注1）偶発故障は，部品・機器の耐用年数期間内において，摩耗が進行する以前に起こる予期できない突発的な故障で，技術的な対策をたてることが難しく，現時点では，統計的な取扱に基づく施策しかとることができません。

注2）※印経過年数は頻繁な発停のない通常の使用状態で，10 時間／日，2,500 時間／年と仮定した場合です。運転状況により異なりますので保守契約時にご確認ください。

注3） は，摩耗故障の始まる時点を予測し，経過年数と共に，故障率があがってい

については，各部品の摩耗故障域に達する運転時間又は使用期間を予測し定めています。

記号の説明
- ●：点検結果により，清掃・調整の実施
- ▲：点検後異常時は，部品交換・修理実施
- ◇：定期交換を実施（消耗部品）

の構成により異なりますのでご注意ください。

予防保全 ※																		
保全内容	点検周期	保全周期（使用時間/期間）	経過年数 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	備　考
・中性洗剤による洗浄・補修塗装による塗装	1年毎 冷房シーズン前	8年		偶発故障						▲							摩耗故障	清掃対象品
・変形，損傷の場合は修正又は交換 ・動作異常時は軸受，モーターなど交換		8年		偶発故障						●							摩耗故障	
・断熱材剥がれの場合は補修・貼り付け ・補修塗料による塗装		8年		偶発故障						▲							摩耗故障	清掃対象品
・劣化，硬化時は交換		10年		偶発故障								▲					摩耗故障	
・汚れている時は清掃 ・破れている時は交換	1週間毎[注4]	5年		偶発故障			◇		偶発故障			◇		偶発故障			◇	消耗部品
・振れ，バランスが著しく悪い時は交換 ・ゴミ付着大の場合，ハケ清掃又は水洗浄	1年毎 冷房シーズン前	13年		偶発故障											●		摩耗故障	
・ベアリング音が大きい時はベアリング交換 ・1MΩ以下の時はモーター交換		20,000 Hr		偶発故障						▲							摩耗故障	
・定期的に部品交換		5,000 Hr		◇		◇		◇		◇		◇		◇		◇		消耗部品
・定期的に部品交換		15,000 Hr		偶発故障				◇	偶発故障					◇	偶発故障			消耗部品
・1MΩ以下の時は交換		20,000 Hr		偶発故障						▲							摩耗故障	
・ドレンパンの清掃，傾斜の確認 ・補修塗装，程度によってはドレンパン交換		8年		偶発故障						▲							摩耗故障	清掃対象品
・排水不良時は交換 ・詰まり汚れ時は清掃 ・1MΩ以下の時は交換		20,000 Hr		偶発故障						▲							摩耗故障	
・1MΩ以下の時は交換		20,000 Hr		偶発故障						▲							摩耗故障	
・動作不良の時は交換		20,000 Hr		偶発故障						▲							摩耗故障	
・目詰まり時は，空気流入側の洗浄 ・ガス漏れ検出時は，修理又は交換		5年		偶発故障			●		偶発故障		●	偶発故障		●	偶発故障	●	●	清掃対象品 雰囲気汚れによる
・腐食の著しい時は交換，配管の手直し ・摩耗の著しい時は交換，配管の手直し		20,000 Hr		偶発故障						▲							摩耗故障	
・ロック発生時は，交換		20,000 Hr		偶発故障						▲							摩耗故障	
・1MΩ以下の時は交換		20,000 Hr		偶発故障						▲							摩耗故障	
・ゴミ付着大の場合，ハケ清掃 ・1MΩ以下の時は交換 ・緩みがあれは増し締め，再差込		25,000 Hr		偶発故障								▲					摩耗故障	
・電圧異常があれば交換		10年		偶発故障								▲					摩耗故障	
・断線，ショートの場合は交換		5年		偶発故障			▲										摩耗故障	
・制御の追従性，表示不良の時は交換		25,000 Hr		偶発故障								▲					摩耗故障	
・損傷，変形がある場合は交換 ・1MΩ以下の時は交換 ・ほこり付着がある時は清掃	1年毎 暖房シーズン前	8年		偶発故障						▲							摩耗故障	
・目詰まりフィルターは交換 ・変形損傷がある場合は交換 ・定期的に交換	1年毎 冷房シーズン前	1年	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	消耗部品
・1MΩ以下の時は交換 ・洗浄，放電線切れ時は交換		8年		偶発故障						▲							摩耗故障	清掃対象品
・親水化による劣化が著しい時は交換 ・汚れているときは清掃	1年毎 暖房シーズン前	3年		偶発故障	◇	偶発故障		◇	偶発故障		◇	偶発故障	◇	偶発故障		◇		消耗部品
・1MΩ以下の時は交換		20,000 Hr		偶発故障						▲							摩耗故障	
・定期的に洗浄		10年		偶発故障								▲					摩耗故障	清掃対象品
・ノズル詰り発生時は詰り除去 ・スケール除去 ・1MΩ以下の時は交換		5年		偶発故障			●		偶発故障		●			偶発故障			●	清掃対象品
・汚れているときは清掃 ・1MΩ以下の時は交換		3年		偶発故障	●	偶発故障		●	偶発故障		●	偶発故障	●	偶発故障		●		清掃対象品

く傾向を表した図です。

注4）フィルターの点検実施時期は基本的に1週間としていますが，フィルターの種類や使用環境で汚れ具合は異なりますので，使用環境に応じて任意周期で点検を行ってください。

【主として**室外側**の部品】※室内側･室外側の区分は店舗用エアコン，ビル用マルチエアコンを想定しています。設備エアコンなどユニットの構成により

部品名			定期点検		
部品名			点検内容	点検方法	判定基準<目安>
構造部品	ガード類		・塗装被膜の剥がれ，浮きのチェック ・樹脂部品の割れ，ヒビのチェック	目視点検	・著しい錆の発生，ヒビ，割れなどがないこと
	フレーム・底板類		・錆，断熱材の剥がれチェック ・塗装被膜の剥がれ，浮きのチェック	目視点検	・著しい錆，断熱材の損傷がないこと
	防振ゴム		・ゴムの劣化，硬化のチェック	目視・聴感点検	・防振機能に弊害がないこと
送風系統部品	ファン ファンケーシング		・振れ，バランスの目視チェック ・ゴミの付着，外観チェック	目視点検 目視点検	・著しい振れ状態でないこと ・著しい錆，変形の発生がないこと
	ファンモーター		・音の聴感チェック ・絶縁抵抗の測定	聴感点検 500V メガ	・異常音の発生がないこと ・1MΩ以上のこと
	ベアリング		・定期的に給油が必要	聴覚点検	・異常な音の発生がないこと
冷媒系統部品	圧縮機		・起動，運転，停止時の音聴感，振動 ・絶縁抵抗の測定(各メーカーの指定時間通電後) ・端子の緩み，配線の接触	目視･聴感･触感点検 500V メガ ドライバー・目視点検	・異常な音，振動がないこと ・1MΩ以上のこと ・緩み，接触がないこと
	空気熱交換器		・ゴミによる目詰まり，損傷チェック ・ガスもれ	目視点検 ガス検知器	・目詰まり，損傷がないこと ・漏れ検知がないこと
	機内配管		・機内配管の共振，接触，腐食 ・キャピラリーチューブの共振，接触	目視点検 目視点検	・異常な共振，音，腐食がないこと ・異常な共振，接触摩耗がないこと
	電子式膨張弁		・動作チェック ・電源入切にて，動作音（圧力確認）	触感点検 聴感･触感点検	・冷媒循環を感じること ・駆動音と温度変化があること
	電磁弁，四方弁等		・電磁弁，四方弁等の動作，絶縁性能 ・腐食，異常音	500V メガ 目視・聴感点検	・1MΩ以上のこと ・異常な音，腐食がないこと
	容器関係		・アキュームレーター，オイルセパレーター等の腐食	目視点検	・異常な腐食がないこと
	保護装置 (保安部品)	圧力遮断装置	・動作圧力，ガス漏れ，絶縁抵抗	圧力計ほか	・設定値で作動のこと ・法規上の規定事項を遵守すること
		可溶栓	・外観チェック (可溶合金の膨らみ)	目視点検	・可溶合金が正常位置のこと
電気･電子部品	クランクケースヒーター		・導通チェック ・絶縁抵抗の測定 ・外観チェック	テスター 500V メガ 目視点検	・導通があること ・1MΩ以上のこと ・異常がないこと
	凍結防止ヒーター		・導通チェック ・絶縁抵抗，外観チェック	テスター 500V メガ・目視点検	・導通があること ・1MΩ以上のこと，異常がないこと
	電装BOX(インバーター含む)		・回路の絶縁抵抗チェック ・端子部，コネクター緩みチェック	500V メガ ドライバー・目視点検	・1MΩ以上のこと ・接続部分に緩みがないこと
		電解コンデンサー	・コンデンサー（電解）外観チェック	目視点検	・液もれ，変形がないこと
		平滑コンデンサー	・静電容量，絶縁抵抗の測定 ・外観チェック	静電計，500V メガ テスター	・規定容量以上のこと ・1MΩ以上のこと
		端子台	・端子部ネジ緩み，汚れ堆積	ドライバー・目視点検	・緩みなきこと ・堆積異物がないこと
		電装部品 （基板類も含む）	・HIC 基板の短絡チェック ・基板類へのゴミ付着の目視チェック ・自己点検モード，外観チェック	テスター 目視点検 目視点検	・規定の抵抗値であること ・堆積異物がないこと ・異常表示しないこと
	圧力センサー，温度センサー		・オープン，ショート，地絡，外観チェック	テスター，目視点検	・規定の抵抗値であること ・亀裂，変色なきこと
	開閉器類 (FFB，ELB含む)	電磁開閉器 過電流継電器 補助リレー類	・動作，外観チェック ・接点の荒れ	目視点検 目視点検	・変形なきこと ・設定通り作動，変形なきこと ・変形，変色なきこと
	スイッチング電源トランス		・出力電圧測定	テスター	・出力電圧が規定値以内であること
	冷却ファン		・絶縁抵抗，異常音発生	500V メガ・聴感点検	・1MΩ以上のこと，異常音なきこと
	ヒューズ		・外観チェック	目視点検	・変形，変色なきこと

注1）偶発故障は，部品・機器の耐用年数期間内において，摩耗が進行する以前に起こる予期できない突発的な故障で，技術的な対策をたてることが難しく，現時点では，統計的な取扱に基づく施策しかとることができません。

注2）※印経過年数は頻繁な発停のない通常の使用状態で，10 時間／日，2,500 時間／年と仮定した場合です。運転状況により異なりますので保守契約時にご確認ください。

注3）は，摩耗故障の始まる時点を予測し，経過年数と共に，故障率があがっていく傾向を表した図です。

記号の説明
- ●：点検結果により，清掃・調整の実施
- ▲：点検後異常時は，部品交換・修理実施
- ◇：定期交換を実施（消耗部品）

異なりますのでご注意ください。

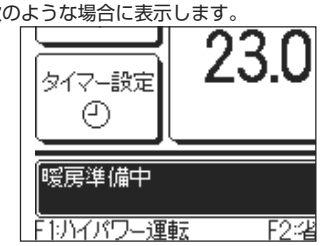
予防保全 ※																	
保全内容	点検周期	保全周期（使用時間/期間）	経過年数 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	備　考
・補修塗料による塗装 ・ヒビ，割れなど損傷ある場合は交換。	1年毎 冷房 シーズン前	8年		偶発故障						▲							摩耗故障	清掃対象品
・断熱材剥がれの場合は補修・貼り付け ・補修塗料による塗装		8年		偶発故障						▲							摩耗故障	清掃対象品
・劣化，硬化時は交換		10年		偶発故障								▲					摩耗故障	
・振れ，バランスが著しく悪い時は交換 ・ゴミ付着大の場合，ハケ清掃又は水洗浄		10年		偶発故障								●					摩耗故障	
・ベアリング音が大きい時はベアリング交換 ・1MΩ以下の時はモーター交換		20,000 Hr		偶発故障						▲							摩耗故障	
・定期的に部品交換		15,000 Hr		偶発故障				◇		偶発故障				◇		偶発故障		消耗部品
・異常な場合は，交換 ・1MΩ以下の時は交換 ・増し締め。配線経路の修正		20,000 Hr		偶発故障						▲							摩耗故障	
・目詰まり時は，空気流入側の洗浄 ・ガス漏れ検出時は，修理又は交換		5年		偶発故障			●		偶発故障		●	偶発故障		●	偶発故障	●	●	清掃対象品 雰囲気汚れによる
・腐食の著しい時は交換，配管の手直し ・摩耗の著しい時は交換，配管の手直し		20,000 Hr		偶発故障						▲							摩耗故障	
・ロック発生時は，交換		20,000 Hr		偶発故障						▲							摩耗故障	
・1MΩ以下の時は交換		20,000 Hr		偶発故障						▲							摩耗故障	
・腐食発生の場合，補修塗装		20,000 Hr		偶発故障						▲							摩耗故障	
・設置値許容範囲で作動しない場合は交換		25,000 Hr		偶発故障								▲		偶発故障				
・可溶合金が正常位置より膨らんでいる場合は交換		15,000 Hr		偶発故障				▲		偶発故障				▲		偶発故障		
・導通がない場合は交換 ・1MΩ以下の時は交換		8年		偶発故障						◇		偶発故障						消耗部品
・導通がない場合は交換 ・1MΩ以下の時は交換		20,000 Hr		偶発故障						▲							摩耗故障	
・ゴミ付着大の場合，ハケ清掃 ・1MΩ以下の時は交換 ・緩みがあれは増し締め，再差込 ・外観チェックと液洩れなどがあれば交換		25,000 Hr		偶発故障								▲					摩耗故障	
・定期的に部品交換 ・1MΩ以下の時は交換		10年		偶発故障								◇		偶発故障				消耗部品
・緩みあれば増し締め。 ・堆積異物付着の場合はハケ清掃		25,000 Hr		偶発故障								▲					摩耗故障	
・規定の抵抗値以外であれば交換 ・堆積異物付着の場合はハケ清掃 ・部品交換または修正		25,000 Hr		偶発故障								▲					摩耗故障	
・断線，ショートの場合は交換		5年		偶発故障			▲										摩耗故障	
・動作不良又は変形，変色の時は交換		25,000 Hr		偶発故障								▲					摩耗故障	
・電圧異常があれば交換		10年		偶発故障								▲					摩耗故障	
・1MΩ以下の時は交換 ・ファンロック時は交換		20,000 Hr		偶発故障						▲							摩耗故障	
・遮断時交換		10年		偶発故障								◇		偶発故障				消耗部品

暖房準備について

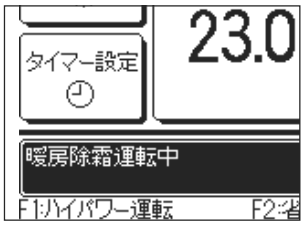
「暖房準備中」・「暖房除霜運転中」は次の場合に表示します

リモコン メッセージ表示部の「暖房準備」は次のような場合に表示します。

- **暖房運転開始のとき**
  冷風の吹出防止のため暖房運転開始時の室内温度に応じて室内の送風が停止の状態になります。しばらくお待ちになれば自動的に通常の暖房運転に切り換わります。



- **暖房運転時の除霜運転中のとき**
  室外機に霜が付きやすい条件になると自動的に約１時間に５～10分間暖房運転を停止（室内・外機とも送風停止）し，除霜運転を行います。除霜運転終了後は自動的に通常の暖房運転に切り換わります。



暖房運転について

- **ヒートポンプ式暖房**
  冷媒の働きによって室外の空気中に含まれている熱をくみ上げて室内を暖房するしくみをヒートポンプ式暖房といいます。
- **除霜運転**
  ヒートポンプ式エアコンで暖房する場合，室外の温度が下がってくると室外機の熱交換器に霜が付きそのままでは暖房効果が下がりますので，自動的に除霜運転に切り換えて霜を取ります。この間室内および室外機の送風を停止し「暖房除霜運転中」を表示します。
- **外気温度と暖房能力**
  ヒートポンプ式エアコンでは外気温度が下がるにつれて暖房能力は低下します。暖房能力が不足の場合は他の暖房機を併用してください。
- **室内温度が上がるまでの時間**
  ヒートポンプ式エアコンはお部屋全体を暖める温風循環方式ですから室温が上がるまで多少時間がかかります。特に寒い朝などには早めに運転を開始してください。
- **暖房時に室温調節器が働いたとき**
  室内の温度が上がり室温調節器が働いたときは自動的に弱風になります。室温が下がると自動的に通常の暖房運転に切り換わります。

停電補償について

お知らせ

リモコンには停電補償の機能がついており、停電補償を有効とすることができます。
（工場出荷時は無効に設定されています。）お買い上げの販売店にご相談ください。

■停電補償とは

・停電または電源スイッチを切った後、電源が復帰した際に、停電前のリモコン設定状態で自動的に運転を再開する機能です。停電前にエアコンが停止していた場合は、電源復旧後も停止となります。

・ただし下記内容については、停電補償有効／無効に関わらず、下記の通りとなります。

＜ecoタッチリモコンの場合＞

①時計・カレンダー設定は、停電が80時間以内は記憶しています。80時間を超えると初期設定に戻る場合があります。

②切忘れ防止タイマーは、電源復旧後、自動的に復帰します。

③時間入タイマー、時間切タイマー、時刻入タイマー、時刻切タイマーは、キャンセルされます。電源復旧後、時計・カレンダー設定を行ったあと、再設定が必要です。

④ウィークリータイマーは、時計・カレンダーが有効な状態で復帰した場合は、電源復旧後、自動的に復帰します。時計・カレンダーが初期設定となった場合は、ウィークリータイマーは無効となりますが、時計・カレンダーを再度設定すると、ウィークリータイマーは自動的に復帰します。

＜ワイヤードリモコンの場合＞

①時刻設定は初期設定に戻ります。

②時間タイマーは、電源復旧後、自動的に復帰します。

③時刻入タイマー、時刻切タイマーはキャンセルされます。電源復旧後、時刻合わせを行ったあと、再設定が必要です。

④ウィークリータイマーは、電源復旧後、全曜日休日設定で復帰します。元の状態に戻すには、電源復旧後、時刻合わせを行ったあと、「休日解除」を行ってください。

⑤ルーバ位置は、初期設定に戻ります。

お 願 い

停電補償を有効に設定してある場合は、必ず運転を停止してから電源スイッチを切ってください。（運転のまま電源スイッチを切ると、電源スイッチ入と同時に室内機のファンが回ります。また、電源スイッチ入の約３分後に室外機が運転します。）

スイッチ操作禁止設定について〈ワイヤードリモコン〉

お知らせ　下記のスイッチ操作を禁止にする設定ができます。禁止に設定した場合，スイッチを押すと，「操作無効です」と表示され，元の状態に戻ります。設定については，お買い上げの販売店にご相談ください。

①運転／停止スイッチ
②温度設定スイッチ
③風向調整スイッチ
④運転切換スイッチ
⑤風量調整スイッチ
⑥タイマースイッチ

据え付け・移設・点検整備について

エアコンを安全で快適にご使用いただくため次のことをご確認ください。
工事は販売店に依頼し，お客様ご自身ではなさらないでください。

据 付 場 所

風通しの良い場所に据え付けられていますか？
障害物があると能力低下や運転音増大のもとになります。
冷・温風や運転音が近隣の迷惑になっていませんか？

電 気 工 事

⚠ 注意 **アース工事を行ってください。**
アース線は，ガス管，水道管，避雷針，電話のアース線に接続しないでください。アースが不完全な場合は，感電や火災の原因になることがあります。

⚠ 注意 **設置場所によっては漏電ブレーカーの取り付けが必要です。**
漏電ブレーカーが取り付けられていないと火災や感電の原因になることがあります。

電気工事・アース工事資格のある人が，電気設備技術基準にしたがって工事をしてください。

■エアコン専用の配線になっていますか？
■リモコンスイッチの取り付けは正しく行われていますか？
- 露出配線の場合，付属のネジで固定してありますか？
- リモコンコードの固定は付属のリモコンコードクランプを使用していますか？
- お子様の手の届かない高さに取り付けてありますか？

転居や移設のとき

⚠ 警告 **エアコンを移動再設置する場合は，販売店または専門業者にご相談ください。**
据え付けに不備があると水漏れや感電，火災などの原因になります。なお，取り外しや再据え付けには工事費がかかります。

点検整備について

ご使用状況や周囲の環境によっても変わりますが，エアコンを３年程度ご使用になりますと内部が汚れ能力が低下することがありますので，通常のお手入れとは別に点検整備が必要です。お買い上げの販売店とご相談のうえ保守契約（有料）をされるようお勧めします。

運転範囲

お 願 い　次の運転範囲でお使いください。この範囲外で運転しますと，保護装置が働き運転できないことがあります。

区分＼条件	室内温度は…	室外温度は…	室内湿度は…
冷房運転 除湿運転	約21～30℃ 約21℃以下で長時間運転しますと機械に霜が付き，冷房・除湿運転ができないことがあります。	セゾンエアコン 約−5～43℃ ビル空調システム 約−15～43℃	約80%以下 高い湿度で長時間運転するとエアコンの表面に露が付いて水滴が落ちたり，吹出口から煙のような霧が吹き出すことがあります。
暖房運転	約27℃以下	セゾンエアコン 約−10～21℃ ビル空調システム 約−20～21℃ 外気温が低くなると暖房能力が低下し，暖まりにくくなります。	

（注）機種によって運転範囲が異なる場合があります。カタログ等で，ご確認ください。

長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について

本機（パッケージエアコン）は業務用です。ご家庭以外の用途でご使用になる場合は，保守・点検ガイドライン（P5～8）に従い，経年劣化による危害の発生を防止してください。

本体への表示内容

ご家庭での使用において，経年劣化による危害の発生が高まるおそれがあることを注意喚起するために，電気用品安全法で義務付けられた以下の表示を本体の銘板近傍に行っています。

- 製造年：本体の装置銘板の中に西暦4桁で表示してあります。
- 設計上の標準使用期間：本体の装置銘板の近傍に下記の表示を行います。

【設計上の標準使用期間】10年
設計上の標準使用期間を超えてお使いいただいた場合は、
経年劣化による火災･けが等の事故に至るおそれがあります。

●本機（パッケージエアコン）は業務用です。
「設計上の標準使用期間」等は家庭用としてご使用された場合を想定して表示しております。

設計上の標準使用期間とは

- 「設計上の標準使用期間」等は家庭用としてご使用された場合を想定して表示しております。
- ご家庭での使用を前提とし，運転時間や温湿度など，右表の標準使用条件に基づく経年劣化に対して，製造した年から安全上支障なく使用することができる標準的な期間です。
- 設計上の標準使用期間は，無償保証期間とは異なります。また，一般的な故障を保証するものではありません。
- 「点検周期」と「保全周期」の一覧に基づいて適切な保全行為を行った場合はこの限りではありません。

標準使用条件　日本冷凍空調工業会自主基準による

環境条件	電源電圧	定格表示電圧による
	周波数	定格表示周波数による
	冷房室内温度	27℃（乾球温度）
	冷房室内湿度	47%（湿球温度 19℃）
	冷房室外温度	35℃（乾球温度）
	冷房室外湿度	40%（湿球温度 24℃）
	暖房室内温度	20℃（乾球温度）
	暖房室内湿度	59%（湿球温度 15℃）
	暖房室外温度	7℃（乾球温度）
	暖房室外湿度	87%（湿球温度 6℃）
	設置条件	機器の据付説明書による標準設置
負荷条件	住宅	木造平屋，南向き和室，居間
	部屋の広さ	機器能力に見合った広さの部屋（畳数）
想定時間	1年当たりの使用日数	東京モデル 冷房 6月2日から9月21日までの112日間 暖房 10月28日から4月14日までの169日間
	1日当たりの使用時間	冷房：9時間／日 暖房：7時間／日
	1年間の使用時間	冷房：1,008時間／年 暖房：1,183時間／年

（注）上記の条件と著しく異なる場合，または，本来の使用目的以外でご使用された場合は，設計上の標準使用期間より短い期間で経年劣化による火災・けが等の事故に至るおそれがあります。

保証とアフターサービスについて

保証について（保証期間は，納入日から起算して1年間です。）

この製品には保証書が付いています。

- 保証書はお買い上げの販売店で所定事項を記入しお渡ししますので，記載内容をご確認の上，大切に保管してください。
- 保証期間中，万一故障した時は，お買い上げの販売店または指定のサービス店にご連絡ください。保証書の記載事項に基づいて1年間は無償修理致します。（保証期間経過後の修理は有償になります。）保証期間中でも有償になる場合がありますので，保証書をよくお読みください。
- 良好な状態で長く安心してご使用いただくために，お客様の行う日常点検（フィルタ清掃など）以外に専門技術者による定期的な保守点検を実施してください。標準的な保守点検の，「点検周期」および定期点検に伴う「保全周期」［主要部品の交換・修理実施周期］は，**表-1を目安**にされると便利です。（**表-1は，保守・点検ガイドライン（P5～8）からの抜粋を含みます。**）
  また，代表的「消耗部品」の例を**表-2**に示します。（**表-2は，保守・点検ガイドライン（P5～8）からの抜粋を含みます。**）
  なお，保守点検の内容は契約会社によって若干異なる場合がありますので，契約時によくお確かめください。

機器予防保全の目安

「保全周期」は保証期間を示しているものではありませんのでご注意ください。
下記は，以下のご使用条件の場合です。
①頻繁な発停のない，通常のご使用状態であること。
②製品の運転時間は，10時間 / 日，2,500時間 / 年と仮定しています。
また，下記の項目に適合する時には，「保全周期」および「交換周期」の短縮を考慮する必要があります。
①温度・湿度の高い場所あるいはその変化の激しい場所でご使用される場合。
②電源（電圧，周波数，波形歪み等）や負荷変動が大きい場所でご使用される場合。
③振動，衝撃が多い場所に設置されご使用される場合。
④塵埃，塩分，亜硫酸ガスおよび硫化水素などの有害ガス・オイルミスト等良くない雰囲気でご使用される場合。

表-1.「点検周期」及び「保全周期」一覧表

主要部品名	点検周期	保全周期［交換又は修理］	主要部品名	点検周期	保全周期［交換又は修理］
圧縮機	1年	20,000時間	バルブ（電磁弁，四方弁など）	1年	20,000時間
モーター（ファン，ルーバ，ドレンポンプ用など）		20,000時間	センサー（サーミスター，圧力センサーなど）		5年
電装部品（基板類も含む）		25,000時間	ドレンパン		8年
膨張弁		20,000時間			

注（1）本表は主要部品を示します。詳細は保守点検契約に基づいて確認してください。この「保全周期」は，製品を長く安心してご使用いただくために，保全行為が生じるまでの目安期間を示していますので，適切な保全設計（保守点検費用の予算化など）のためにお役立てください。
注（2）ドレンポンプ保全周期（交換）は，冷房時使用を想定しております。暖房時も使用の場合は，15,000時間が目安となります。

- 定期点検実施の場合でも予期できない突発的偶発故障が発生する事があります。この場合，保証期間外での故障修理は有償扱いとなります。

補修用部品の保有期間について

このエアコンの補修用部品の最低保有期間は，製造打ち切り後９年間となっています。この期間は経済産業省の指導によるものですが，当社はこの基準により補修用部品を調達した上修理によって性能を維持できる場合は，お客様のご要望により有償修理を実施致します。

消耗部品の交換周期目安

交換周期は保証期間を示しているものではありませんのでご注意ください。

表-2. 消耗部品の「交換周期」一覧表

主要部品名	点検周期	交換周期	主要部品名	点検周期	交換周期
ロングライフフィルター	1週間※	5年	ヒューズ	1年	10年
高性能フィルター	1年※	1年	加湿器エレメント		3年
ファンベルト	1年	5,000時間	クランクケースヒーター		8年
ベアリング		15,000時間	平滑コンデンサー		10年

※フィルターの点検実施時期は，フィルターの種類や使用環境で汚れ具合は異なりますので，使用環境に応じて任意周期で点検を行ってください。

アフターサービスご契約のおすすめ

当社指定のサービス会社と保守契約(有料)いただければ,専門のサービスマンがお客様に代わって保守・点検を致します。万一の故障の時も早期に発見し適切な処置を行う事ができます。

移設および廃棄・整備について

- 転居などでエアコンを移動・再設置する場合は専門の技術が必要ですので，お買い上げの販売店または弊社窓口にご相談ください。
- エアコンを廃棄・整備される場合は冷媒の回収などが必要ですので，お買い上げの販売店または弊社窓口にご相談ください。
- この製品はフロン排出抑制法の第１種特定製品です。
  （1） フロン類をみだりに大気中に放出することは禁じられています。
  （2） この製品を廃棄・整備する場合には，フロン類の回収が必要です。
  （3） フロン類の種類・数量およびその地球温暖化係数は，製品に貼り付けの装置銘板・冷媒量記入銘板に記載されています。
  （4） エアコンを廃棄・整備するときは，都道府県に登録された第１種フロン類充塡回収業者にフロン類の回収を依頼してください。このときフロン類の回収処理費用を機器廃棄業者に負担いただくことになっています。

切り取り線

［アンケート］ 下記の1～5につき、該当する項目に○印をご記入ください。

1．お客様の業種（複数回答）

1	建築・設備業	7	金融・保険業	13	学校・病院・診療所
2	製造業一般	8	不動産業	14	旅館・ホテル
3	百貨店・スーパー等大形店舗	9	運送・倉庫業	15	官公庁・公団
4	中小小売店舗	10	電力・ガス熱供給業	16	家庭・住宅
5	卸売・商社	11	理容・美容業	17	リース業
6	飲食店(含むレストラン・バー)	12	娯楽・遊戯場	18	その他

2．購入の決定にあたって（複数回答）

1	自分でもよく検討したうえ、決定した
2	自分でも検討はしたが、販売店のすすめに従った
3	販売店にまかせた
4	知人・友人からの推薦
5	会社の指定
6	設計事務所または建築会社の推薦

（1．2の時のみ）→3．購入理由（3つまで）

1	省エネ
2	省スペース
3	デザイン
4	価格
5	低騒音
6	操作性
7	メーカー
8	アフターサービス
9	その他（　　）

4．購入形態

1	新規
2	買替
3	買増

→（2の時のみ）　（複数回答）
5．1 旧製品を買替した理由

1	改築にあわせて
2	古くて故障したため
3	古くはないが、故障したため
4	古くなったため
5	音が大きくなったため
6	省エネタイプでないため
7	有効スペースを得るため
8	その他（　　）

→（複数回答）
5．2 旧製品メーカー

1	三菱重工
2	三菱電機
3	ダイキン
4	日立
5	東芝
6	松下
7	三洋
8	その他

→5．3 旧製品の使用年数

1	5年未満	5	8年
2	5年	6	9年
3	6年	7	10年
4	7年	8	11年以上

（複数回答）

［自由記入欄］　お気づきの点等ございましたらご記入ください。

誠に有難うございました。今後とも三菱重工製品をご愛用賜りますようお願い申し上げます。

サービスをお申しつけになるときは次のことをお買い上げの販売店にご連絡ください

- エアコンのタイプ：
- エアコンの形式名：
- ご　購　入　日：
- 異 常 の 内 容：できるだけ詳しく。エラーコード，メッセージ等表示されている場合は表示内容についても連絡願います。
- ご　　住　　所：
- ご　　氏　　名：
- 電　話　番　号：
- 訪問ご希望日時：

■お客様メモ

ご購入店名：

電話番号：

担　当　者：

ご購入日：　　年　　月　　日

お客様ご相談窓口

アフターサービスはお買い上げ店にご依頼ください。なお，転居その他の理由でお買い上げ店にアフターサービスを依頼することができない場合は，下記のお客様相談センターにご相談ください。（電話番号は予告なく変更することがありますのでご了承ください。）

三菱重工冷熱株式会社

サービスフロントセンター（修理受付，部品，技術相談）　フリーコール 0120-975-365

三菱重工

三菱重工サーマルシステムズ株式会社　〒108-8215 東京都港区港南 2-16-5
三菱重工冷熱株式会社　〒108-0023 東京都港区芝浦 2-11-5

切り取り線

郵 便 は が き

誠に恐れ入りますが、切手を貼ってご投函ください。

4 5 2-8 5 6 1

愛知県清須市西枇杷島町
旭三丁目１番地

三菱重工サーマルシステムズ株式会社

業務用空調機
ご愛用者アンケート係　行

この度は、当社の業務用空調機をお買い上げ頂きまして誠に有難うございました。
今後の参考にお客様のご意見をお聞かせ願いたく誠にお手数ですが以下の項目にご記入のうえ、切手を貼ってご投函ください。ご返送頂きましたお客様には、粗品を送付させて戴きます。

ご住所	〒□□□-□□□□　(Tel)　－　－ 都・道 府・県		
社名・店名			
部課名 ご氏名			
ご購入の販売店		室内機形式	
据付年月		室外機形式	

メーカー記入欄 □□□□□□-□□□

お客様ご相談窓口・ご愛用者アンケート係における お客様の個人情報のお取り扱いについて

三菱重工サーマルシステムズ株式会社および三菱重工冷熱株式会社（以下「当社」）は，お客様よりお知らせいただいたお客様の氏名・住所などの個人情報（以下「個人情報」）を，下記のとおり，お取り扱いします。

1．当社は，お客様の個人情報を当社製品のご相談への対応や修理およびその確認などに利用させていただき，これらの目的のためにご相談内容の記録を残すことがあります。なお，修理やその確認業務を当社の協力会社に委託する場合，法令に基づく義務の履行または権限の行使のために必要な場合，その他正当な理由がある場合を除き，当社以外の第三者に個人情報を開示･提供いたしません。
2．当社は，お客様の個人情報を，適切に管理します。
3．お客様の個人情報に関するお問い合わせは，ご相談いただきましたお客様ご相談窓口にご連絡ください。